

公表

事業所における自己評価総括表（令和7年度）

○事業所名	ゴットオフライフ岡崎校（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 9日 ～ 2025年 4月 22日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 4月 24日 ～ 2025年 4月 24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の言語に合わせたサービスの提供ができています	ポルトガル語・スペイン語・日本語などに対応のできる職員を配置している。	日本人職員のポルトガル語勉強会を実施する。
2	専門的な支援の提供ができています	ブラジルの大学で学んだ方や、ブラジルの病院や産業カウンセラーなどをされていた有資格者（心理担当・言語担当）などが専門知識を活かした支援を行っている。	職員の資質や知識の向上を図るため、定期的な勉強会や、専門家による研修会を実施している
3	国籍や年齢に関係なく、ご利用者の受け入れを行うことができています。	ポルトガル語・スペイン語・日本語などに対応のできる職員を配置しており、様々な言語に対応している。また通訳のできる職員を配置しており、日本語職員との通訳や、保護者に対しての日常支援を実施している	保護者様の受給者証取得の支援を、もっと手厚くできるように、外国籍職員への制度勉強会を実施する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との繋がりが弱い	外国籍の方に対する地域の認識度・言葉の壁などの障害がある	職員や保護者の日本語レベル向上のための勉強会の開催・地域の日本語教室への誘導など
2	地域の保育園全体に弊社が認識されていない	社会資源への営業活動が不足している	保育園など、地域の社会資源に対しての訪問活動を徹底させる。新聞広告などを活用し、地域の認知度を上げる
3	同業者が行っているイベントに参加できていない	外国籍職員の言語能力がネックとなっている	通訳の方を同席させるなどして、外国人職員の社会参加を促していく。